

貸借対照表 (B/S)

貸借対照表は、決算日(3月31日)における本学の財政状況(資産、負債及び純資産の状況)を表します。

資産の部				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減*
I 固定資産	255,080	255,294	258,762	3,468
1 有形固定資産	251,189	250,918	254,169	3,251
土地	128,141	128,140	128,114	△26
建物	77,767	76,482	72,731	△3,751
構築物	2,029	2,079	2,039	△40
工具器具備品	15,568	17,375	22,928	5,553
図書	22,089	22,123	22,125	2
美術品・收藏品	333	333	333	0
船舶	4,063	3,501	2,941	△560
その他	1,195	879	2,953	2,074
2 無形固定資産	753	780	806	26
ソフトウェア	293	303	307	4
その他	458	475	497	22
3 投資その他の資産	3,136	3,595	3,786	191
投資有価証券	2,325	2,715	2,927	212
その他	808	877	855	△22
II 流動資産	31,365	32,721	37,302	4,581
現金及び預金	23,035	17,792	22,811	5,019
未収学生納付金収入	143	181	175	△6
未収附属病院収入	6,047	5,963	6,469	506
未収入金	1,045	1,766	2,955	1,189
有価証券	200	5,702	3,799	△1,903
たな卸資産	51	60	69	9
医薬品及び診療材料	594	824	776	△48
その他	247	428	243	△185
資産合計	286,446	288,015	296,064	8,049

負債の部				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減*
I 固定負債	52,320	53,589	59,346	5,757
資産見返負債	46,703	47,846	51,823	3,977
債務負担金	893	269	15	△254
引当金	463	519	590	71
長期未払金	3,254	3,934	5,881	1,947
資産除去債務	1,005	1,019	1,034	15
II 流動負債	28,402	28,998	32,801	3,803
運営費交付金債務	4,953	3,167	4,347	1,180
寄附金債務	8,342	8,386	9,018	632
前受委託研究費等	2,112	2,627	2,824	197
1年以内返済債務負担金	856	624	254	△370
未払金	9,471	11,003	12,158	1,155
その他	2,661	3,183	4,193	1,010
負債合計	80,722	82,587	92,147	9,560

純資産の部				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減*
I 資本金	154,570	154,570	154,570	0
II 資本剰余金	15,558	14,087	10,849	△3,238
III 利益剰余金	35,594	36,769	38,497	1,728
前中期目標期間繰越積立金	29,201	29,201	29,201	0
目的積立金	1,173	2,344	2,669	325
積立金	3,567	4,048	4,429	381
当期末処分利益	1,652	1,174	2,197	1,023
純資産合計	205,723	205,427	203,916	△1,511
負債・純資産合計	286,446	288,015	296,064	8,049

*各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。
※令和元年度と令和2年度の比較です。

主な増減要因

- 資産**
- 建物:△3,751百万円
※減価償却累計額の増
 - 工具器具備品: +5,553百万円
※病院情報システム更新など新規取得による増
 - 有形固定資産・その他: +2,074百万円
※練習船建造契約締結など建物仮勘定の増
 - 現金及び預金: +5,019百万円
※資金運用による定期預金の預入等に伴う増

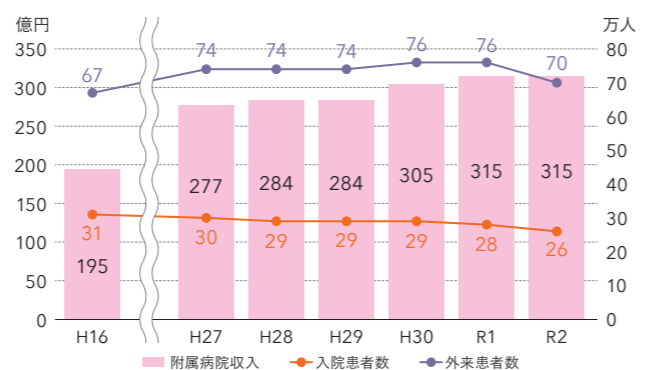
- 負債**
- 長期未払金: +1,947百万円
※リース資産取得に伴う未払金の増
 - 未払金: +1,155百万円
※4月支払物件費の増
- 純資産**
- 資本剰余金: △3,238百万円
※施設費等で整備された資産に係る減価償却費の増

附属病院収入の推移

大学病院は、医療人材を養成し、高度医療の提供や、新治療法の研究開発を通じ、安心安全な国民生活を実現する使命を負っており、利益のみを追求しているわけではありません。

北大病院は、これらの使命を着実に果たしつつ、さまざまな経営努力を行い、病院収入を増加させてきました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症陽性患者の受け入れ等に対応するため、診療制限を実施し緊急性の高い疾患を優先して治療するなどした結果、患者数は激減したものの診療単価が増加したことにより、ほぼ前年度同額の収入を確保しています。



損益計算書 (P/L)

損益計算書は、一事業年度の運営状況を表したものです。

費用				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減*
I 経常費用	95,193	97,515	96,670	△845
業務費	92,130	94,344	93,542	△802
教育経費	5,770	5,684	5,302	△382
研究経費	8,680	8,960	8,701	△259
診療経費	18,337	19,587	20,521	934
教育研究支援経費	1,756	1,229	1,027	△202
受託研究費	6,775	6,723	7,082	359
共同研究費	1,794	1,884	2,033	149
受託事業費	1,036	1,313	1,094	△219
人件費	47,977	48,960	47,777	△1,183
一般管理費	2,951	3,084	3,041	△43
財務費用	111	85	86	1
雑損	0	0	0	0
II 臨時損失	360	1,357	497	△860
費用合計	95,553	98,872	97,167	△1,705
当期総利益	1,652	1,174	2,197	1,023
計	97,205	100,046	99,364	△682

収益				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減*
I 経常収益	97,069	99,392	99,300	△92
運営費交付金収益	34,747	35,526	33,463	△2,063
学生納付金収益	10,130	10,139	9,910	△229
附属病院収益	30,632	31,511	31,528	17
受託研究収益	6,674	6,742	7,096	354
共同研究収益	1,806	1,885	2,044	159
受託事業等収益	1,033	1,323	1,100	△223
寄附金収益	1,992	1,988	1,974	△14
施設費収益	74	411	343	△68
補助金収益	2,052	2,148	4,297	2,149
資産見返負債戻入	4,827	4,309	4,321	12
財務収益	6	11	11	0
雑益	3,090	3,393	3,207	△186
II 臨時利益	135	654	52	△602
収益合計	97,204	100,046	99,352	△694
目的積立金等取崩額	1	-	11	11
計	97,205	100,046	99,364	△682

*各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。
※令和元年度と令和2年度の比較です。

主な増減要因

- 経常費用**
- 診療経費: +934百万円
※医薬品等材料費の増
 - 人件費: △1,183百万円
※退職者の減
- 経常収益**
- 運営費交付金収益: △2,063百万円
※退職手当の減少に伴う収益化額の減
 - 補助金収益: +2,149百万円
※病院におけるコロナ対応に伴う国からの補償による増

キャッシュ・フロー計算書 (C/F)

キャッシュ・フロー計算書は、一事業年度のお金の流れを表します。

令和2年度においては、業務活動で獲得した資金を設備投資や借入金の返済に充てたことが分かります。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	差額*
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	11,909	8,196	13,047	4,851
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,005	△4,638	△6,486	△1,848
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,074	△2,299	△2,541	△242
IV 資金に係る換算差額	0	△0	0	0
V 資金増加額 (I+II+III+IV)	3,828	1,257	4,019	2,762
VI 資金期首残高	11,705	15,535	16,792	1,257
VII 資金期末残高 (V+VI)	15,535	16,792	20,811	4,019

*各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。
※令和元年度と令和2年度の比較です。

I 業務活動によるキャッシュ・フロー

教育・研究及び診療など、大学の通常業務の実施に伴う資金の収支状況を表します。
【収入>支出(+表示)、収入<支出(-表示)】

II 投資活動によるキャッシュ・フロー

将来の運営基盤を確立するための投資の実施に伴う資金の収支状況を表します。
【設備投資の抑制(+表示)、設備投資の拡大(-表示)】

III 財務活動によるキャッシュ・フロー

資金調達や返済などに伴う資金の収支状況を表します。
【借入の拡大(+表示)、返済(-表示)】

利益の処分に 関する書類

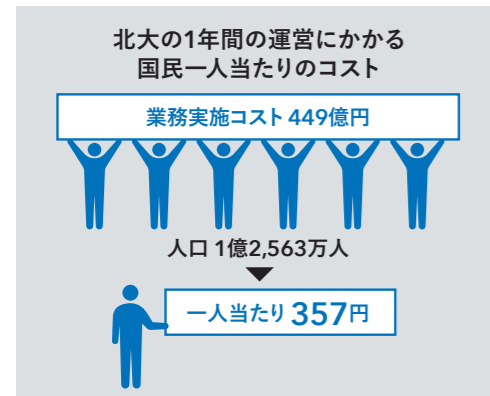
損益計算の結果、当期に発生した利益の処分について明らかにしたものです。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	差額*
I 当期末処分利益	1,652	1,174	2,197	1,023
当期総利益	1,652	1,174	2,197	1,023
II 利益処分類	1,652	1,174	2,197	1,023
目的積立金(教育研究向上及び組織運営改善積立金)	1,170	794	1,201	407
積立金	481	380	996	616

※各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。
※令和元年度と令和2年度の比較です。

国立大学法人等 業務実施コスト計算書

大学運営にかかる国民負担額を明らかにしたものです。損益計算書の費用から自己収入を控除し、損益計算書に計上されないコストや機会費用を加味して算出します。



	平成30年度	令和元年度	令和2年度	差額*
I 業務費用	39,713	41,384	39,907	△1,477
(1) 損益計算書上の費用	95,553	98,872	97,167	△1,705
(2) (控除) 自己収入等	△55,840	△57,487	△57,260	227
II 損益外減価償却相当額	4,627	4,176	3,993	△183
III 損益外減損損失相当額	0	9	26	17
IV 損益外利息費用相当額	2	2	2	0
V 損益外除売却差額相当額	0	13	1	△12
VI 引当外賞与増加見積額	59	33	△18	△51
VII 引当外退職給付増加見積額	155	△276	779	1,055
VIII 機会費用	16	24	210	186
・国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	16	15	15	0
・政府出資の機会費用	-	8	195	187
IX (控除) 国庫納付額	-	-	-	-
X 国立大学法人等業務実施コスト	44,575	45,367	44,903	△464

※各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。
※令和元年度と令和2年度の比較です。

(算出方法)
業務実施コスト449億円÷人口1億2,563万人
人口:令和3年1月1日現在(総務省統計局データより)

決算報告書

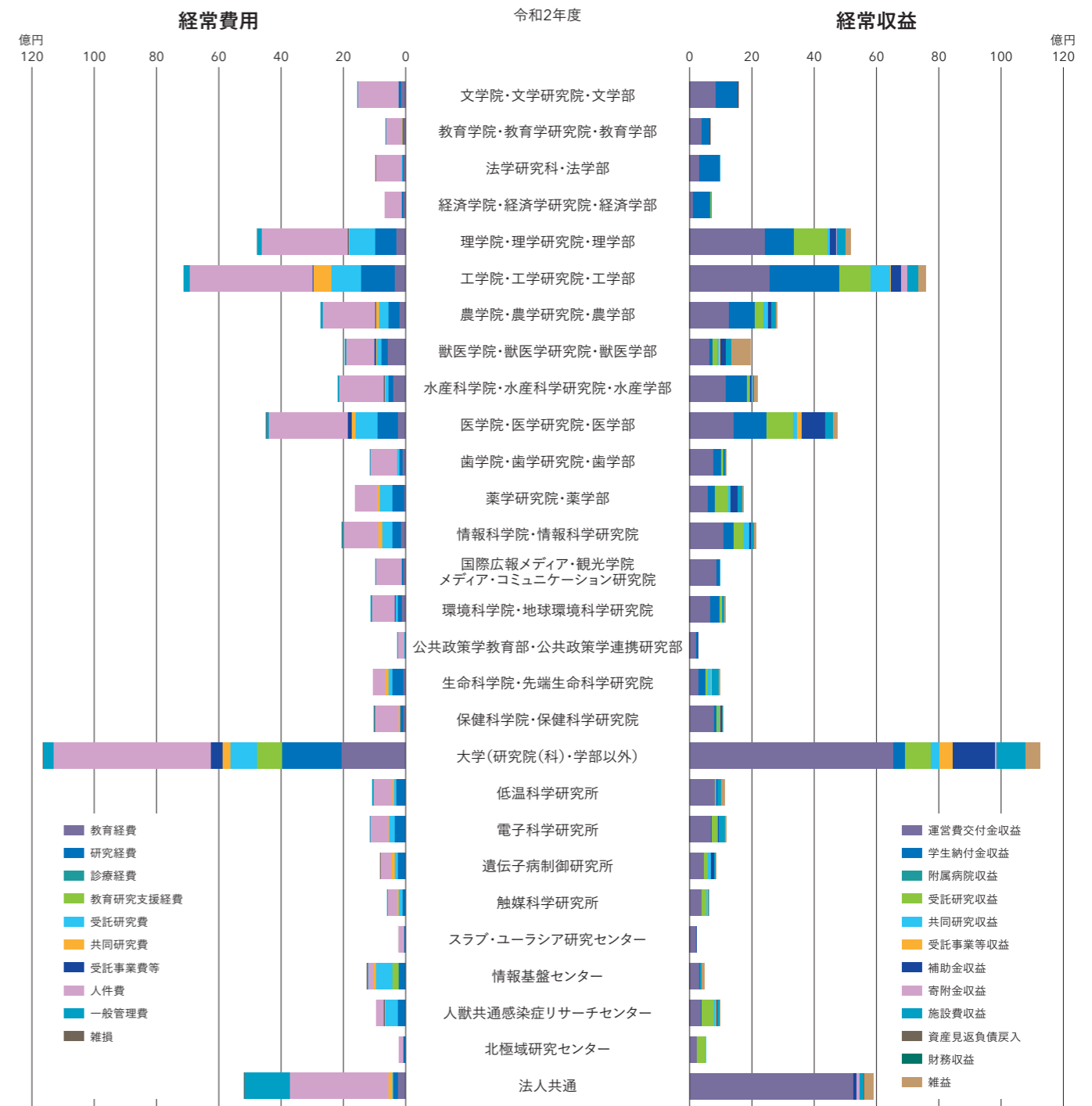
決算報告書とは、国における会計認識基準に準じ、現金主義を基礎としつつ出納整理期の考え方を踏まえ、一部発生主義を取り入れて国立大学法人等の運営状況を収入・支出ベースで報告するものです。

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減*
収入				
運営費交付金	39,395	40,650	37,622	△3,028
施設整備費補助金	1,064	3,070	614	△2,456
船舶建造費補助金	-	1	1,498	1,497
補助金等収入	2,823	3,112	7,834	4,722
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	78	123	123	0
自己収入	41,937	43,051	42,296	△755
授業料、入学金及び検定料収入	9,658	9,570	9,559	△11
附属病院収入	30,596	31,540	30,967	△573
雑収入	1,681	1,940	1,769	△171
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	15,284	16,162	16,975	813
引当金取崩	568	605	640	35
目的積立金取崩	116	-	503	503
前中期目標期間繰越積立金取崩	0	-	-	-
計	101,267	106,778	108,110	1,332
支出				
業務費	74,960	80,091	75,768	△4,323
教育研究経費	47,034	50,147	46,521	△3,626
診療経費	27,925	29,944	29,247	△697
施設整備費	1,142	3,148	738	△2,410
船舶建造費	-	1	1,498	1,497
補助金等	2,822	3,076	7,547	4,471
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	13,259	13,814	13,860	46
長期借入金償還金	1,172	900	643	△257
計	93,356	101,033	100,057	△976
収入-支出	7,911	5,744	8,052	2,308

※各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。
※令和元年度と令和2年度の比較です。

セグメント情報の開示

北海道大学では、平成30事業年度より詳細な財務情報を開示するため、財務諸表(附属明細書)において、従来の大学セグメントのうち、研究院(科)・学部のセグメント情報を個別に開示しています。



※セグメント情報の詳細は、財務諸表(附属明細書)をご覧ください。
https://www.hokudai.ac.jp/pr/r02zaimusyohyou.pdf#page=36

